

更新車両（指揮車）

1 更新車両の概要（現行車両との比較）

項目	更新車両（艀装後）	現行車両（艀装後）
車名	日産キャラバン改	日産キャラバン改
導入年度	—	平成15年度（2003年度）
全長	4,695mm以下	4,850mm
全幅	1,695mm以下	1,690mm
全高	2,210mm以下	2,200mm
最大積載量	750kg	750kg
車両総重量	3,085kg以下	3,165kg
最大搭載人数	8人	8人
最大搭載馬力	96kW（130PS）/5,600rpm	88kW（120PS）/5,200rpm
総排気量	1,998cc	1,998cc
参考写真	 (完成イメージ)	
仕様	ワンボックス車両を消防専用に艀装 人員および資機材の搬送	ワンボックス車両を消防専用に艀装 人員および資機材の搬送

2 更新車両の仕様選定理由

(1) 運用内容から現行仕様と同等仕様

- 指揮車は、各種の災害現場において指揮拠点として運用することや、時として傷病者搬送としての用途を併せ持つ車両です。
- 現行仕様は、専用棚、取付装置等を設けていません。
このため災害事象に応じた資機材の載せ替えが可能となっています。
更新車両は現行の仕様を引き継いだ仕様としています。
- 現行車両は、導入から20年経過していることから故障等への不安もあります。
更新整備により安定した運用体制が期待できます。

(2) 多様な運用・役割を果たす車両（人員搬送・傷病者搬送）

- これまでの多様な運用も継続することで、消防力の維持向上が期待できます。
- 大規模災害など複雑な災害や風水害では、発生初期に多くの人員を災害現場に投

入することがあります。

- ・ 大規模災害における、現場指揮体制の強化のための指揮支援活動
- ・ 土のう積上げ、土砂排除等の水防活動における人員搬送等の初動対応力の向上
- 増加する救急要請のなか、交通事故（多重事故）では本車両により多数の傷病者を医療機関に搬送することがあります。
 - ・ 多数傷病者発生事故における、傷病者搬送を含めた救急支援活動
- 活動状況により、後方支援体制を行うことがあります。
 - ・ 活動の長期化、暑さ寒さへの環境対策等の活動支援や、交代要員の人員搬送を含めた後方支援活動